

表情マグネット

「表情シート」のひとつひとつの表情を、黒板などに貼れるマグネットシートにしました。1枚が19×19cmとサイズが大きいので遠くからでも見やすく、教室などの広い場所で使用するのに適しています。主に指導者向けです。

20の表情は「表情シート」に記載されているものと完全対応していますので、指導者は表情のマグネットを黒板に貼り、子どもは表情シートを手元で見ながらワークを進めることができます。



使い方

「表情シート」（別売り）を子どもに配布し、ひとつひとつの表情について話し合いを行います。その時間のトピックにしたい表情マグネットを黒板に貼り、連動して使用します。また、3枚～5枚のシートを黒板に貼り、その変化（感情の分化）についての学習を集団で進めることができます。

活用場面

●道徳や総合学習での感情教育、友達作りの時間における集団学習の際の指導者用として。●集団学習や個別学習における子どもの感情の発表用として。



¥9,975（税込）
表情マグネット 20枚
説明書（使用例付）
寸法 / マグネット：190×190mm
外箱：200×205×26mm
※総重量：1.5kg

監修：本田 恵子（早稲田大学教育学部教授）
著者：本田 恵子・鈴木 眞理（臨床心理士）

表情シリーズ関連書籍



キレやすい子の理解と対応
学校でのアンガーマネジメント・プログラム
著者 本田 恵子

1,890円（税込）
ほんの森出版

表情シリーズ使用のポイント

感情の分化を促すには

自分のもやもやした気持ちを表現するには、その時点の自分の感情を整理し、それがなぜ生じたのか理解することが大切です。

子どもが、感情を表現するのが苦手だったり、興奮して自分の気持ちを的確に表現できなくなった場合、今の気持ちを表情シリーズに表記されている表情の中から選んでもらいます。今の気持ちを選んだ後に「どうしてこの気持ちになったの？」と問いかけることで、子ども自身が今の気持ちを自分で確認し、自分の気持ちについて考える機会を作ることができます。なぜそのような気持ちになったのか、感情の変化を具体例を挙げて説明するよう促し、子どもが自分なりの言葉で感情を表現できるよう助けます。